

グリーンフラッグ 8月の活動

～全国学校園庭ビオトープコンクールへ！～

= 現地審査がありました =

夏休みに入ってすぐに、1本の電話がかかってきました。書類審査を通過したので、現地審査をお願いしたいとのことでした。夏休み中で日程を調整することとなり、8月24日、午前11時からおこなうことになりました。

当日、日本生態系協会からは、1名の審査員がお見えになりました。本校からは、環境委員会の子ども達4人と、地域の代表として学校運営協議会会長、保護者代表としてPTA会長も参加しました。校長の挨拶のあと、学校だけでなく、地域と一緒に自然を守っているそのことも含めたビオトープ作りである「学校丸ごとビオトープ」のコンセプトについて、担当職員から説明をしました。



子ども達からは、各学年、委員会の取組について発表をしました。オオキンケイギクの駆除については、審査員の方から「自分の目の前の地域だけでなく、川上とか川下とかを見てその上で活動を展開するといいです」とのアドバイスをいただきました。

その後、校庭から、相川の森、相模川のほほえみ広場まで見て回りました。相川の森では、モグラの痕跡があら



こちらにあって、土が軟く土壌が豊かなことに驚いていました。たいていの学校林の土は硬く、乾いてしまうことが多いようです。毎年、森の手入れをした際に、枝打ちしたものをチップにして、森に蒔いたのが効果的だったのかもしれない。

相模川のほほえみ広場では、カワラノギクの保護地やそこに自生する植物を見ていただきました。本校の自然が豊かなことは伝わったのではないのでしょうか。審査員の方はたくさんの写真を撮っていらっしゃいました。審査結果は、

12月に入って連絡しますとのことでした。楽しみですね。

= 畑は収穫のまっさかり =

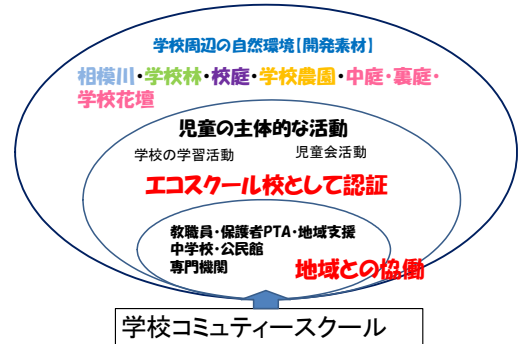
今年も本校の玄関には、たくさんのカボチャが、と言いたいところですが、昨年と比べるとめっきりと作物の数は減っています。夏の日照不足が、相川小の農園にも表れました。

= カワラノギクは順調です =

今年の始業式は、いつもより早く、8月30日でした。そのため、9月1日が2学期最初の委員会活動でした。子ども達とカワラノギクを見に行きました。いつもと違って、その草丈をのぼして、草の先端はいくつかに枝分かれしていました。つぼみと思われるものも見られていました。



学校丸ごとビオトープとは



学校丸ごとビオトープのコンセプトについて、担当職員から説明をしました。

子ども達からは、各学年、委員会の取組について発表をしました。オオキンケイギクの駆除については、審査員の方から「自分の目の前の地域だけでなく、川上とか川下とかを見てその上で活動を展開するといいです」とのアドバイスをいただきました。

その後、校庭から、相川の森、相模川のほほえみ広場まで見て回りました。相川の森では、モグラの痕跡があら

